



環境フォーラム せんだい

2025 事業報告書

FEEL Sendai



環境フォーラムせんだい 2025

環境フォーラムせんだいは、身近な環境に関することをテーマに、市民、NPO、学校、事業者、行政などの多彩な仲間たちが、企画・運営しているイベントです。

来場者の皆様、特に今年度は未就学児を含む親子連れにも、楽しみながら環境について学び、環境にやさしい行動をするきっかけにさせていただきたいという思いで、各出展者が展示やワークショップをつくり上げたほか、全団体共同で周遊型の全体企画を実施しました。

開催概要

日時 : 2025年3月8日(土) 9:30~16:30

会場 : 仙台国際センター展示棟 展示室 3-B

主催 : FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)

共催 : 仙台市・仙台市教育委員会

企画・運営: 環境フォーラムせんだい 2025 実行委員会

来場者数: 5,300人 (仙台防災未来フォーラム 2025 来場者数)



実行委員会参加団体

尚絅学院大学 人文社会学類 渡邊ゼミ、東北工業大学 環境サークルたんぽぽ、ワケルキャンパス (仙台市家庭ごみ減量課)、仙台 ECO 動物海洋専門学校 野生動物・環境保護専攻 2年、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) / ストップ温暖化センターみやぎ、せんだい農業園芸センターみどりの杜 日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体、仙台市脱炭素都市推進部、仙台リバーズネット・梅田川 / NPO 法人水・環境ネット東北 / 雨水ネットワーク東北、特定非営利活動法人水守の郷セヶ宿、仙台青葉学院短期大学・とうほく食育実践協会、建築士会仙台支部と地球の子舎、みやぎ環境カウンセラー協会、仙台市環境共生課、FEEL Sendai、NPO 法人環境会議所東北、仙台市教育指導課、個人参加

目次

ブース 番号	展示タイトル	団体名	ページ
2	制服の残布でくるみボタンをつくろう!	尚綱学院大学 人文社会学類 渡邊ゼミ	3
3	ネイチャークラフト体験 ーどんぐりや松ぼっくりをデコレーションしよう!ー	東北工業大学 環境サークルたんぼぼ	
4	ワケルキャンパスの軌跡	ワケルキャンパス(仙台市家庭ごみ減量課)	4
5	動物の絶滅危惧種カルタで学ぼう	仙台 ECO 動物海洋専門学校 野生動物・環境保護専攻 2年	
6	温暖化防止拠点!ストップ温暖化センターみやぎ	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) / ストップ温暖化センターみやぎ	5
7	自然豊かなみどりの杜	せんだい農業園芸センターみどりの杜 日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体	
8	ともにアクション!地球温暖化対策 ー地球温暖化とわたしたちにできることー	仙台市脱炭素都市推進部	6
9	なるほど!仙台天水桶とレインガーデン	仙台リバーズネット・梅田川 / NPO 法人水・環境 ネット東北 / 雨水ネットワーク東北	
10	環境×防災×森林 CLT を活用した DIY 防災シェルターキット開発	特定非営利活動法人水守の郷セヶ宿	7
11	気候変動ジェンガ・ゲーム ーゲームで学ぼう「気候変動のしくみと対策」ー	仙台青葉学院短期大学・とうほく食育実践協会	
12	地球を守るため建築士が考える未来の暮らし ーG20.世界が注目する日本の植樹方式とは	建築士会仙台支部と地球の子舎	8
13	太陽ってすごい	みやぎ環境カウンセラー協会	
14	「杜の都スタイル」ってなんだろう?	仙台市環境共生課	9
1・15	全体企画:ミッションをクリアして楽しく学ぼう! ー環境アドベンチャーー	環境フォーラムせんだい 2025 実行委員会	10
	「こんな仙台に住みたいな」 環境絵画・ポスターコンクール表彰式	FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)	11

2 制服の残布でくるみボタンをつくろう!

尚絅学院大学 人文社会学類 渡邊ゼミ



出展内容

制服の製造などを行う、「宮城トンボ株式会社」さんに尚絅学院大学 人文社会学類 渡邊ゼミがコラボさせていただき、制服を作る際に出た残布を再利用し、くるみボタン作りを行いました。

当日の様子

環境フォーラムの受付を除き、入口となるブースでした。234人の方がくるみボタン作りをしてくださいました。また、宮城県内の高校の制服の生地を使っており、デザインに愛着を持ってくださる方もいました。制服の生地だけでなく、ご家庭に眠る、どんな生地も再利用できますので、今日で終わらずぜひくるみボタンなどにリメイクしてみてください!

3 ネイチャークラフト体験—どんぐりや松ぼっくりをデコレーションしよう!—

東北工業大学 環境サークルたんぽぽ



出展内容

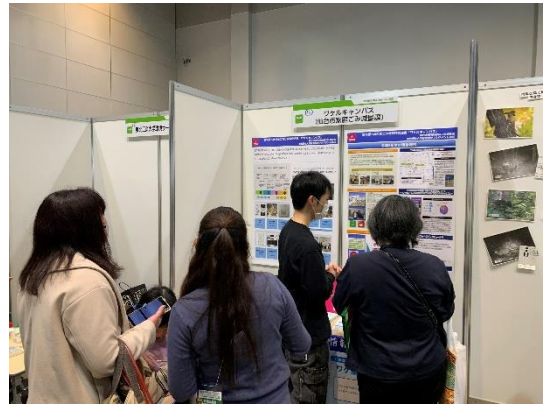
私たちのブースでは「ネイチャークラフト」体験を行いました!どんぐりや松ぼっくりにお絵描きや、ビーズを装飾して持って帰ることができました。

当日の様子

当日、小学生のみならず、中高生や大人の方にも体験していただき工作を楽しんでいただきました。予想外だったのは、「松ぼっくりツリー」より「どんぐりストラップ」の方が人気だったこと。別イベントでは松ぼっくりの方が人気だったので、地域によって変わるのかなと思いました。

4 ワケルキャンパスの軌跡

ワケルキャンパス(仙台市家庭ごみ減量課)



出展内容

平成から令和までのワケルキャンパスの活動の歴史を振り返るとともに、今年度取り組んだ地域のごみ問題への意識の変化などを調査した結果を紹介しました。
また、ごみの意識に関するアンケートを実施しました。

当日の様子

環境フォーラムの全体企画として周遊して楽しんでもらう形だったので、老若男女問わず多くの来場者の方に訪れていただきました。ワケルキャンパスの活動を皆さん熱心に聞いてくださいました。
100人以上にごみの意識に関するアンケートを実施しました。次年度以降の活動に活かせる回答を集めることができました。

5 動物の絶滅危惧種カルタで学ぼう

仙台 ECO 動物海洋専門学校 野生動物・環境保護専攻 2年



出展内容

いま絶滅の危機に瀕している動物をカルタにし、実施。また実習地である青葉の森緑地管理センターにて観察できた野生動物の写真・映像展示、木の実や葉の展示などハンズオンも行った。

当日の様子

主に小さいお子様や小学生、中学生はカルタを主に楽しみ、高校生や大人の方は、写真やハンズオンに興味を持ってくださっていた。実際に多数の動物が間近で観察できることを『初めて知った、興味がある』などの声が多数見受けられ、カルタについては『動物園で見かける動物は絶滅危惧種がほとんどなんだ』と驚かされている方も多かった。

6 温暖化防止拠点!ストップ温暖化センターみやぎ

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) / ストップ温暖化センターみやぎ



出展内容

既に起こっている地球温暖化。これからさらにどんな影響が起こるのか、そして私たちがすべき対策について紹介しました。

当日の様子

多くの方に地球温暖化対策に関するポスターを見てもらいました。スタッフや宮城県地球温暖化防止活動推進員の説明を親子で熱心に聞いている姿が印象的でした。今回のイベントをきっかけに温暖化防止に向けた行動が広がってくれたら嬉しいです。

7 自然豊かなみどりの杜

せんだい農業園芸センターみどりの杜 日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体



出展内容

園内採种植物で作る「ミニ額縁づくりWS」、園で開催している「自然観察会」観察内容パネルなど展示しました。
全体企画クイズ ①冬に来る鳥は?(A.ハクチョウ)②「冬野菜の鍋づくり(A.ダイコン・ハクサイ・ネギなど3種類)」を実施しました。

当日の様子

前年と同じWS開催でしたが、「河北ウイークリー」掲載効果なのか、前年より早い段階で、予定数量に達し、好評でした。また、全体企画クイズラリーも70名の回答者を得ることが出来、好評でした。会場の都合で、環境フォーラムが端になった為、不安要素はありましたが、企画の効果で、盛況だったと思います。

8 とともにアクション!地球温暖化対策—地球温暖化とわたしたちにできること—

仙台市脱炭素都市推進部



出展内容

地球温暖化対策に関する市の事業やご家庭で日常的にできる取り組みを展示したほか、手回し発電機で電球の種類ごとの消費電力の違いを体験していただきました。

当日の様子

全体企画の冒険マップのおかげもあり、小さなお子様から高齢の方までたくさんの方に参加していただきました。ご自身の体を使って発電を体験することで、LED が白熱球に比べて発電しやすく省エネであるということを実感していただけたと思います。

9 なるほど!仙台天水桶とレインガーデン

仙台リバーズネット・梅田川 / NPO 法人水・環境ネット東北 / 雨水ネットワーク東北



出展内容

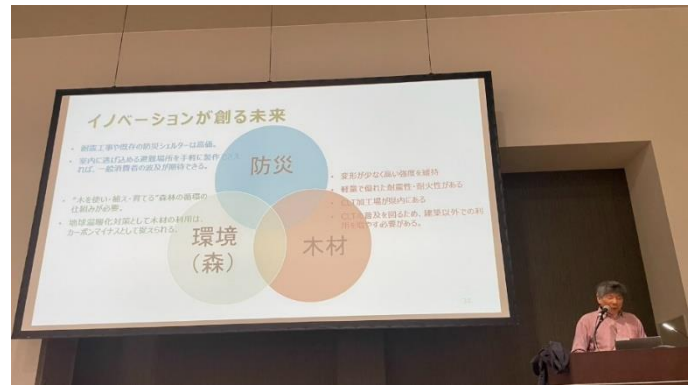
仙台天水桶 (雨水タンク) の実物とレインガーデン (雨庭) の模型展示による紹介と、環境、防災関連ポスターを展示しました。「雨庭模型の中の天水桶の数は?」と「水道水と雨水、洗剤の泡立ちの多いのはどっち?」のクイズを実施しました。

当日の様子

途切れる事なくブースへの来場がありました。梅田川の川づくり活動や雨水の活用の必要性に多くの方に関心を持ってもらい、「雨庭模型の中の天水桶の数は?」「水道水と、雨水洗剤が良く泡立つのはどっち」のクイズを実施。親子やお年寄りまで多くの方が雨水の泡立ちの多さにびっくり! 雨水活用が環境、防災に繋がることの啓発の場となりました。

10 環境×防災×森林 CLT を活用した DIY 防災シェルターキット開発

特定非営利活動法人水守の郷セツケ宿



出展内容
宮城県のCLT普及促進事業で当法人が開発したCLTシェルターの展示とチラシの配布、CLT説明スライドを設置した。

当日の様子
ブースが狭く隣のブースとの間隔が取れなかったため酷い展示会でした。またクイズについても、考える力が乏しいのか？最初から答えを求める方が見受けられ、近年のイベントで景品狙いの大人が増えていることを実感しました。

11 気候変動ジェンガ・ゲームゲームで学ぼう「気候変動のしくみと対策」

仙台青葉学院短期大学・とうほく食育実践協会



出展内容
気候変動のしくみと対策について、ゲームをしながら学べるブースで、3歳以上から大人まで幅広く楽しんでいただきました。

当日の様子
子どもから大人まで幅広く、温室効果ガスに見立てたジェンガを、引いたカードの数の分だけ地球のなかに入れていくゲームを楽しんでくれました。ゲームをしながら、参加者間で「“電気のむだ使い”って書いてるよ。〇〇くん、いつも部屋の電気つけっぱなしじゃない？」などの会話を聞くことができました。

12

地球を守るため建築士が考える未来の暮らし-G20.世界が注目する日本の植樹方式とは

建築士会仙台支部と地球の子舎



出展内容

環境に配慮した理想の家を提案しました。省エネ施策の助成金の紹介、アスベスト問題も取り上げました。環境問題において重要な世界的解決策と言わしめた「宮脇フォレスト」、国際シンポジウムの様子を紹介しました。

当日の様子

奥まった場所にもかかわらず、大変多くの方々が来ていただきました。省エネ住宅への関心、地球環境に有効な植樹活動への関心が高いお客様が多く、質問や、展示物も真剣にご覧いただきました。クイズ問題にも多くの皆様に参加頂き、用意した景品100個は14時には無くなりました。

13

太陽ってすごい

みやぎ環境カウンセラー協会



出展内容

地球温暖化のパネル、実験装置の展示を行いました。さらに子どもたちに地球温暖化に関心をもってもらいたいと考え、ストラックアウトゲームを実施しました。

当日の様子

ブースは2ブース使わせてもらい、ストラックアウトゲームを実施することができました。なかなかボードを倒せない子もいましたが、用意した景品150個は、すっかりなくなってしまいました。楽しく学べるコーナーを今後も考えていきたいと思いました。

14 「杜の都スタイル」ってなんだろう？

仙台市環境共生課



出展内容

仙台らしい環境にやさしい行動や身近な自然に親しむ「杜の都スタイル」を広めるため、Instagram コンテストの受賞作品や杜の都の生物多様性をご紹介します。また杜の都の環境に関するアンケートも実施しました。

当日の様子

全体企画連動のクイズ（「生物多様性の恵み」に該当するものを展示から探してもらう）で、多くの来場者に生物多様性について知っていただくことができました。お配りした缶バッジや Instagram フォロークャンペーンも好評で、環境局の取り組みへの関心を高め、継続的に情報に触れていただくきっかけとすることができました。

1・15 全体企画：ミッションをクリアして楽しく学ぼう！ー環境アドベンチャーー

環境フォーラムせんだい 2025 実行委員会



出展内容

環境フォーラム参加団体の各ブースを回り、クイズやワークショップといったミッションを通して環境について学んでもらい、最後に今日から取り組みたいことを考え記入してもらう企画を実施しました。

当日の様子

当日は、家族連れをはじめとした多くの方に「環境アドベンチャー」に参加いただきました。ルートに分け、均等に複数のブースを回っていただくことで、絶えず人がいる状況をつくり出すことができ、環境フォーラム全体の一体感と賑わいをつくることができました。また、企画を通じて出展者と来場者が交流している様子も見られました。「かんきょうの木」には「環境アドベンチャー」で学んだことを踏まえたコメントも多く記入されていました。

「こんな仙台に住みたいな」環境絵画・ポスターコンクール表彰式

FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)



発表内容

FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議) 事業の「『こんな仙台に住みたいな』環境絵画・ポスターコンクール」受賞作品の表彰式を行いました。

当日の様子

表彰式開始直後はみなさん緊張した面持ちでしたが、ひとりひとり作品にこめた思いをしっかりと話していただきました。環境に対する関心を持ち様々な思いで制作していただいたこと、とてもうれしく思います。当日の作品展示も多くの方に見ていただき、多くの方の環境に対する関心が高まったのではないかと思います。